

外貨預金の運用例

下記は簡素化した運用例であり、実際の金利・相場とは異なります。

※本シミュレーションでは税率を20%として計算しておりますが、平成25年1月1日から令和19年12月31日までは復興特別所得税が追加課税され20.315%となります。

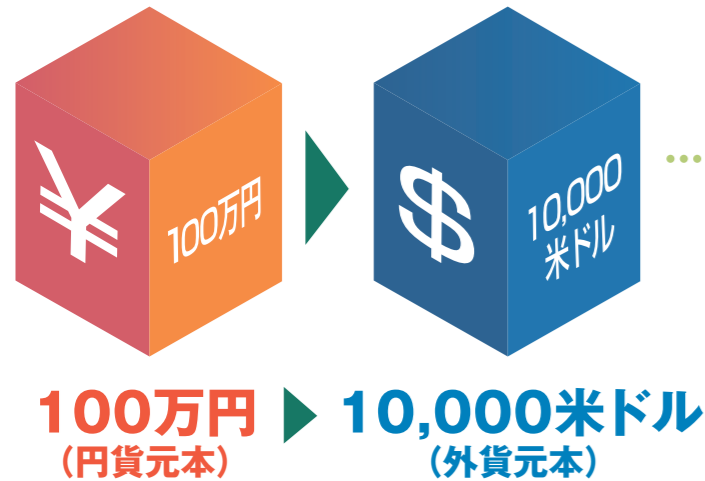


例えば100万円を年率1% (税引後年0.8%) の米ドル外貨定期預金で1年間運用した場合の試算。

預入日

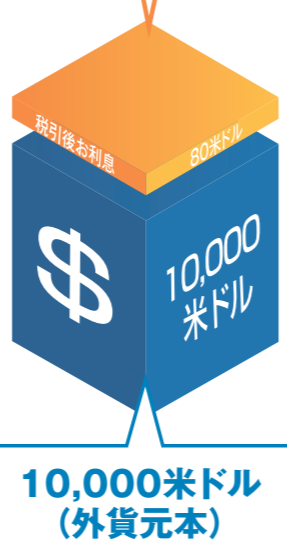
預入時の交換レート(TTS)が
1米ドル=100円の場合
(公表仲値: 1米ドル=99円)

100万円を10,000米ドルへ交換し
お預け入れいただきます。



満期日

80米ドル(税引後お利息)
(お利息100米ドル-税金20米ドル)
(※1) (※2)



合計10,080米ドル

※1 10,000米ドル×1%=100米ドル
※2 お利息には、一律20% (国税15%、地方税5%) が源泉分離課税されます。
平成25年1月1日から令和19年12月31日までの間に支払われる利息には復興特別所得税が追加課税されるため20.315% (国税15.315%地方税5%) の税金がかかります。

円安

引出時の交換レート(TTB)が
1米ドル=110円の場合
(公表仲値: 1米ドル=111円)

円高

引出時の交換レート(TTB)が
1米ドル=90円の場合
(公表仲値: 1米ドル=91円)



税引後お利息 +8,800円
為替差益 +100,000円
預入時元本 1,000,000円

合計1,108,800円
(108,800円の収益)



税引後お利息 +7,200円
為替差損 -100,000円
預入時元本 1,000,000円

合計907,200円
(92,800円の損失)

満期時の選択方法(例)

円貨でのお引き出し

円貨に替えて収益を確定します。

引き続き外貨定期預金で運用

更なる円安を期待して継続します。

円貨でのお引き出し

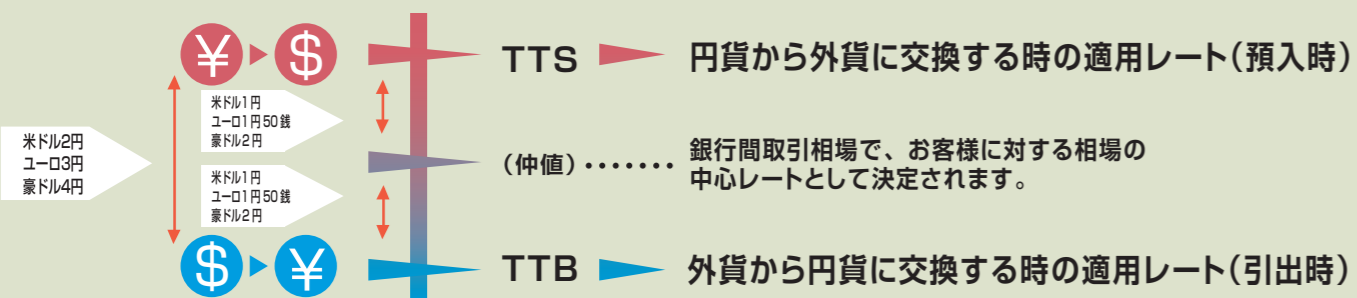
円貨に替えて損失を確定します。

引き続き外貨定期預金で運用

円安を期待して継続します。

適用相場 (TTS・TTB) について

外貨預金のお取引に適用される為替レートは、主に以下の2種類の当金庫公表相場です。
外貨に預け入れるときと、円貨で引き出すときの為替相場には差があります。



各通貨の為替手数料

※ () 内はTTSとTTBの差を表示しています。

米ドル
1円(2円)

ユーロ
1円50銭(3円)

豪ドル
2円(4円)

TTSレート・TTBレートには、1米ドルあたり各1円(往復2円)、1ユーロあたり各1円50銭(往復3円)、1豪ドルあたり各2円(往復4円)の手数料が含まれています。したがって、相場変動がない場合でも、預入時に適用するTTSレートと引出時に適用するTTBレートの差(米ドル2円、ユーロ3円、豪ドル4円)はお客様のご負担となり、元本割れを起こす可能性があります。

為替差益を獲得するためには、お預け入れ時の為替相場(適用相場:TTS)よりも、お引き出し時の為替相場(適用相場:TTB)が高い時(円安の時)に円貨に戻すことが重要なポイントとなります。

※当金庫公表相場は、テレビや新聞で報道されている銀行間市場で取引される為替レートとは異なります。
また、市場相場の急激な変化が生じた場合には、公表相場が適用されない場合があります。